

防災・減災部門

上下水道部門が一体となった災害体制の確立とDXを活用した実行力強化

松山市公営企業局

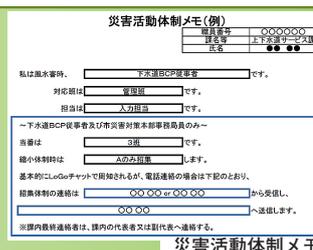
受賞事例の概要

組織統合を機に、限られた人員で迅速かつ効果的な災害対応を行うために、これまで別々に対応していた上水道と下水道の災害体制を**上下水道職員が一体となった災害体制へと見直しを行い**、また、その実行力を強化するため**DXを導入することで実行力強化**を図りました。

体制強化

迅速かつ効果的な災害対応のために

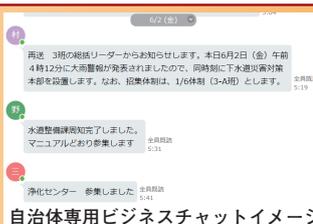
- ①水害・渇水・地震等の災害時の体制に双方の人員配置
- ②上下水道部門それぞれが行っていた災害対応訓練や研修への双方参加
- ③招集体制や各自の役割が確認できる『災害活動体制メモ』の作成



DXの導入

組織内の実行力強化のために

- ④自治体専用ビジネスチャットツール等の導入
 - ・招集連絡の一斉送信(未読者を特定できるツールを使用)
 - ・職員の安否確認(迅速な体制づくり)
 - ・被害状況等のデジタル伝達・共有化(時間短縮と作業の効率化)



住民参加

「自助」、「共助」、「公助」の連携強化のために

- ⑤応急給水栓・マンホールトイレの合同設置訓練
 - ・上下水道職員、自主防災組織や地域住民との合同訓練
 - ・設置した小・中学校の防災授業や教職員への訓練



PRポイント!

松山市では事業の垣根を超えた**横断的な人員配置による体制強化**や自治体専用ビジネスチャットツール等の**DXの導入による実行力強化**を進めています。また、上下水道事業一体となった訓練や研修を行うことで、両事業の災害対応の知識や技術を習得でき、**有事の際に双方の事業で活躍できる職員が増加するとともに、上下水道間の結束力UPも図れました。自主防災組織や住民の方々への災害対応力の向上の支援にも力を入れて取り組んでいます。**

取組の効果!

令和5年6月30日から7月1日にかけての大雨対応では、自治体専用ビジネスチャットツールを活用し、事前の気象情報共有や一斉招集などにより、夜中にも関わらず、職員のスムーズな招集を行うことができました。また、現地調査では庁舎にいる職員が現地から送られてきた写真等を確認することで状況をリアルタイムに把握することができ、現場での対応も関係機関と連携をとりながら迅速に行うことができました。

Key Person



(公企) 下水道整備課 主査 村上 真

松山市では、災害対応が長期化しても、水道事業・下水道事業がともに通常業務を並行して行えるよう、班・担当をあらかじめ決めた名簿を作成しています。そのため、職員の配属先・役職・職種や係・担当の偏りなどを最小限にした、バランスの取れた人員配置が重要となり、その配置に苦労しましたが、上下水道職員が一体となった災害体制へと見直しができたと考えています。

今後は、訓練や経験を通して見つかる新たな課題に対して、確実に改善を行い、より実効性の高い災害体制へとレベルアップを図っていきます。